

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3069 URL <https://j-fla.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作
 問合せ先責任者(役職名) 法務総務部長 (氏名) 尾崎 富彦 (TEL) 03(6311)8892
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	49,777	△0.1	1,384	23.9	1,160	22.8	872	12.7
2025年3月期第3四半期	49,837	△4.3	1,117	49.1	944	59.0	774	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,263百万円(51.9%) 2025年3月期第3四半期 831百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	18.10	—
2025年3月期第3四半期	16.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	42,270	10,276	19.8
2025年3月期	39,466	9,082	18.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,363百万円 2025年3月期 7,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	—
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	△1.9	1,330	1.5	930	2.2	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社アスレポート
 (注) 当社の連結子会社であった株式会社アスレポートは、2025年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	48,277,135株	2025年3月期	47,964,636株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	50,780株	2025年3月期	48,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	48,227,590株	2025年3月期3Q	47,917,758株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A 種種類株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	—	—	60,000.00	60,000.00
2026年 3 月期	—	—	—		
2026年 3 月期(予想)				60,000.00	60,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の持ち直しによる緩やかな回復基調が見られる一方で、不安定な国際情勢や米国の通商政策、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、長引く円安など依然として先行きの不透明な状況が続いております。

食品業界につきましては、外食需要はインバウンド需要の増加により堅調に推移したものの、内食需要は多岐にわたる食品の値上げにより消費者の節約志向が強まり、厳しい事業環境となっております。

このような状況の中、当社グループは、事業再生計画の2期目にあたる当期も、製品価格の見直し、ポートフォリオの最適化、不採算事業の整理、経営管理体制の強化等の各施策を引き続き推進することに加えて、従業員の雇用待遇の改善やキャッシュフローを重視した経営に積極的かつ果敢に取り組み、不安定な事業環境においても事業継続が可能な経営基盤の発展を図りました。その一環として、2025年4月1日に当社を存続会社、連結子会社である株式会社アスラポートを消滅会社とする吸収合併を行い、グループ経営資源の合理化及び効率化を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49,777百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益は1,384百万円(前年同四半期比23.9%増)、経常利益は1,160百万円(前年同四半期比22.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は872百万円(前年同四半期比12.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①生産

九州乳業株式会社は、牛乳、ヨーグルト、豆乳が順調に推移したこと等により増収となりました。一方、利益面では人件費、電力料、物流費他が増加したこと等により減益となりました。茨城乳業株式会社は、主要取引先との密接な取組みや商品開発強化等により、牛乳、ヨーグルト、プリン他の売上が伸長し増益となりました。株式会社弘乳舎は、前期に引き続き収益性の高い余乳処理受託加工収入が増え、また乳加工品も堅調に推移したこと等により増益となりました。盛田株式会社は、2024年7月に日光工場事業を売却した影響もあり、醤油、つゆたれ類の売上が減少し、また飲料、漬物他も苦戦したものの、採算性を重視した販売戦略等により増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は33,655百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業利益は1,778百万円(前年同四半期比18.9%増)となりました。

②流通

株式会社アルカンは、円安が続く厳しい事業環境下においても付加価値の高い商品の訴求を行い、主力商品の「Kiriクリームチーズ」は大手洋菓子チェーン店他との取引が拡大し、また生産性向上が可能な高品質の調理済食品である冷凍パン、フォンドヴォー及び2024年7月に発売した製菓用冷凍フルーツの「アンドロスシェフ」が順調に推移したこと等により増収増益となりました。海外子会社においては、仕入価格の高騰、人件費の増加及び物流拠点の移転に関わる費用が発生しましたが、事業ポートフォリオの見直し等により収益が改善しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,365百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益は190百万円(前年同四半期比82.6%増)となりました。

③販売

株式会社アルテゴは、「BAGEL&BAGEL」のS K Uの強化施策やリピーターに焦点を当てたプロモーション強化施策が奏功し、また2025年3月にオープンした博多店が好調に推移したこと等により増収増益となりました。株式会社菊家は、店舗及び卸部門で減収となったものの、値上げ効果や販売管理費削減等により収益が改善しました。海外子会社においては、人件費やシステム関連費用が増加したこと等により減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,475百万円(前年同四半期比9.4%減)、営業損失は200百万円(前年同四半期は営業利益77百万円)となりました。

④その他

ウェルエイジング事業等の当第3四半期連結累計期間における売上高は280百万円(前年同四半期比10.2%減)、営業利益は15百万円(前年同四半期比75.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,804百万円増加の42,270百万円となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1,610百万円増加の31,993百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ1,194百万円増加の10,276百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、構造改革に伴う事業整理等による精査が必要との観点から、業績予想は記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となりましたら、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,574,358	4,372,205
受取手形及び売掛金	7,943,415	10,758,872
商品及び製品	4,303,274	4,308,468
仕掛品	1,766,762	1,775,252
原材料及び貯蔵品	1,053,088	1,327,047
その他	1,274,822	875,337
貸倒引当金	△67,325	△60,692
流動資産合計	20,848,396	23,356,490
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,802,868	7,802,868
その他(純額)	6,110,135	6,270,456
有形固定資産合計	13,913,003	14,073,325
無形固定資産		
のれん	1,221,838	924,735
その他	87,321	68,578
無形固定資産合計	1,309,159	993,314
投資その他の資産		
その他	4,304,160	4,703,152
貸倒引当金	△908,657	△855,747
投資その他の資産合計	3,395,502	3,847,405
固定資産合計	18,617,666	18,914,044
資産合計	39,466,062	42,270,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,285,016	7,077,539
短期借入金	26,858	128,176
1年内返済予定の長期借入金	417,367	—
未払法人税等	274,962	210,548
賞与引当金	256,366	91,484
店舗閉鎖損失引当金	980	—
その他	3,170,874	3,691,279
流動負債合計	9,432,427	11,199,028
固定負債		
長期借入金	18,033,330	18,032,279
債務保証損失引当金	51,348	43,097
退職給付に係る負債	488,999	476,922
資産除去債務	469,757	465,593
その他	1,907,532	1,776,835
固定負債合計	20,950,967	20,794,727
負債合計	30,383,395	31,993,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801,306	3,801,306
資本剰余金	10,861,441	10,852,307
利益剰余金	△6,720,397	△5,847,628
自己株式	△17,542	△17,837
株主資本合計	7,924,807	8,788,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,121	395,092
為替換算調整勘定	△818,528	△681,808
退職給付に係る調整累計額	△120,519	△138,006
その他の包括利益累計額合計	△792,926	△424,722
非支配株主持分	1,950,786	1,913,353
純資産合計	9,082,667	10,276,778
負債純資産合計	39,466,062	42,270,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	49,837,048	49,777,081
売上原価	36,796,680	36,622,789
売上総利益	13,040,368	13,154,291
販売費及び一般管理費	11,923,062	11,769,785
営業利益	1,117,306	1,384,506
営業外収益		
受取利息	14,295	13,911
受取配当金	6,191	7,079
貸倒引当金戻入額	16,042	74,015
持分法による投資利益	8,607	17,619
その他	181,199	157,164
営業外収益合計	226,336	269,791
営業外費用		
支払利息	309,690	337,934
その他	89,528	156,358
営業外費用合計	399,219	494,292
経常利益	944,423	1,160,006
特別利益		
固定資産売却益	1,840	971
関係会社株式売却益	175,950	156,825
その他	40,696	21,843
特別利益合計	218,486	179,639
特別損失		
固定資産売却損	—	2,302
固定資産除却損	1,057	869
固定資産圧縮損	—	8,685
減損損失	—	3,077
店舗閉鎖損失	—	10,380
事業構造改善費用	30,793	—
その他	6,168	—
特別損失合計	38,019	25,314
税金等調整前四半期純利益	1,124,890	1,314,330
法人税、住民税及び事業税	286,257	362,063
法人税等調整額	37,391	90,681
法人税等合計	323,649	452,745
四半期純利益	801,241	861,585
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	26,587	△11,183
親会社株主に帰属する四半期純利益	774,654	872,769

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	801,241	861,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,166	253,759
為替換算調整勘定	40,751	167,190
退職給付に係る調整額	△34,261	△18,586
その他の包括利益合計	30,656	402,362
四半期包括利益	831,898	1,263,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	792,605	1,240,973
非支配株主に係る四半期包括利益	39,292	22,975

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	生産	流通	販売	計		
売上高						
物品の販売・サービス	33,456,011	9,936,619	6,002,227	49,394,858	30,736	49,425,595
手数料収入	—	2,101	39,895	41,996	5	42,002
その他	—	—	—	—	215,909	215,909
顧客との契約から生じる収益	33,456,011	9,938,720	6,042,123	49,436,855	246,651	49,683,506
その他の収益	18,955	68,490	—	87,445	66,096	153,541
外部顧客に対する売上高	33,474,966	10,007,210	6,042,123	49,524,300	312,748	49,837,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	544,156	236,744	115,744	896,645	381	897,026
計	34,019,123	10,243,955	6,157,867	50,420,946	313,129	50,734,075
セグメント利益	1,495,114	104,387	77,391	1,676,893	62,551	1,739,445

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルエイジング事業等の売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,676,893
「その他」の区分の利益	62,551
全社費用(注)	△ 622,139
四半期連結損益計算書の営業利益	1,117,306

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	生産	流通	販売	計		
売上高						
物品の販売・サービス	33,652,017	10,292,419	5,436,056	49,380,493	19,151	49,399,644
手数料収入	—	4,278	39,445	43,723	191	43,915
その他	—	—	—	—	203,496	203,496
顧客との契約から生じる収益	33,652,017	10,296,698	5,475,501	49,424,217	222,838	49,647,056
その他の収益	3,560	68,490	—	72,050	57,974	130,025
外部顧客に対する売上高	33,655,578	10,365,188	5,475,501	49,496,268	280,813	49,777,081
セグメント間の内部売上高 又は振替高	589,047	276,255	64,904	930,207	142,268	1,072,476
計	34,244,625	10,641,443	5,540,405	50,426,475	423,082	50,849,558
セグメント利益又は損失(△)	1,778,188	190,621	△2,979	1,965,831	15,298	1,981,129

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルエイジング事業等の売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,965,831
「その他」の区分の利益	15,298
全社費用(注)	△ 596,622
四半期連結損益計算書の営業利益	1,384,506

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産等に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	865,993 千円	794,728 千円
のれんの償却額	390,207 千円	298,584 千円